障がい者福祉関連施策【令和7年度実績　及び 令和8年度計画】訂正資料（下線部箇所）

資料２－１（訂正）

№	施策の柱	事　業　名	担当課名	①R7年度 当初予算 (単位：千円)	②R7年度 決算 (単位：千円)	③R8年度 当初予算 (単位：千円)	R7年度事業の成果	R8年度事業の内容
40 (P7)	基本目標2 【施策の柱(1)】 生活環境の整備促進	特別支援教育バリアフリー化整備事業	学校教育課	3,900	2,833	3,900	下肢等に障がいのある児童・生徒が安心・安全で円滑な学校生活を送れるようにするため、トイレの改修や段差解消等の整備を行った。 【整備校：7校（12か所）】	下肢等に障がいのある児童・生徒が安心・安全で円滑な学校生活を送れるようにするため、段差解消や障がい者トイレの軽微な整備等を行う。
132 (P16) 抜粋資料	基本目標3 【施策の柱(3)】 教育・療育支援の充実	特別支援教育支援員配置事業	学校教育課	185,900	145,600	199,300	・授業スタッフ（14名）を、複数の学年の在籍数が多い特別支援学級を有する関係小中学校に配置し、授業充実を図った。 ・コーディネーターサポートスタッフ（4名）を、校内特別支援教育コーディネーターの負担が大きい関係小中学校に配置し、授業の支援・補助を行った。 ・生活・学習アシスタント（65名）を、下肢等に障がいのある児童生徒の学習補助や生活の介助等を行うため、関係小中学校に配置した。 ・日本語指導スタッフ（3名）日本語指導支援員（8名）を、日本語が分からず授業内容の理解が困難な児童生徒が在籍する関係小中学校に配置し、個別支援を行った。	特別な配慮を要する児童生徒の増加や外国籍の児童生徒の増加に伴い特性にあった支援員を対象校に配置することで、児童生徒がよりよい学校生活を送ることができるようにする。
135 (P16) 抜粋資料	基本目標3 【施策の柱(3)】 教育・療育支援の充実	小中学校医療的ケア児支援事業	学校教育課	14,765	6,857	26,900	学校で医療的ケア（医療内容：導尿）が必要な児童・生徒を支援するため、実施校5校、5名に看護師を派遣した。また、医療的ケア児支援運営協議会を年2回実施し、支援の実施体制整備を行った。	学校で医療的ケアが必要な児童・生徒を支援するため、対象校に看護師を派遣するほか、医療的ケア児支援運営協議会を設置し、支援体制の構築を図る。